

LP®540/LP®640

USER'S GUIDE



InFocus®



適合性の宣言

製造元 : InFocus Corporation, 27700B SW Parkway Ave. Wilsonville, Oregon 97070 USA

ヨーロッパ支社 : Strawinskylaan 585, 1077 XX Amsterdam, The Netherlands

InFocus では、このプロジェクトが次の条項および基準に適合していることを保証します。

EMC Directive 89/336/EEC, Amended by 93/68/EEC

EMC: EN 55022

EN 55024

EN 61000-3-2

EN 61000-3-3

低電圧条項 73/23/EEC, Amended by 93/68/EEC

安全性 : EN 60950: 2000

2003 年 12 月

商標

Apple, Macintosh, PowerBook は、Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。IBM は、International Business Machines, Inc. の商標または登録商標です。Microsoft, PowerPoint, Windows は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Adobe および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。InFocus, ProjectorNet, LP は、InFocus Corporation の商標および登録商標です。

FCC 警告

この機器は、FCC 規則の 15 条に準拠したクラス A デジタルデバイスの制限に適合していることがテストされ、確認されています。これらの制限は、機器を商業環境で操作した場合に、害のある干渉に対する妥当な保護が提供されるようにデザインされています。この機器は、ラジオ周波数エネルギーを生成、使用、および放射します。マニュアルの指示通りに設置し、使用しなかった場合は、ラジオ通信に害を及ぼす干渉が発生する場合があります。この機器を住宅地域で操作すると、ユーザーの責任で修正が必要となる害のある干渉を引き起こす可能性があります。

EN 55022 の警告

この製品は、クラス A の製品です。家庭内でご利用の場合、ラジオ周波数への干渉が発生する場合があります。この場合は、適切な処置を取っていただく必要があります。通常は、コンファレンス ルーム、会議室、講義室などで使用してください。

カナダ

このクラス A デジタル機器は、Canadian ICES-003 に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

安全規格の承認

UL, CUL, TUV, GOST

その他の国の承認が適用される場合があります。製品の承認ラベルを参照してください。

警告

この製品には、ごく少量の水銀を含むランプが付属しています。この製品を廃棄する場合は、地域、州や都道府県、国の規則および法律に従ってください。詳しくは、

www.eiae.org を参照してください。

目次

はじめに	5
コンピュータ ソースへの接続	7
必要なコンピュータ接続	7
コンピュータ イメージの表示	9
Windows 98 で最初にプロジェクタを使用する場合	10
イメージの調節	12
ビデオ デバイスの接続	13
ビデオ イメージの表示	14
プロジェクタのシャットダウン	16
セットアップのトラブルシューティング	16
キーパッド ボタンの使用	24
リモート コントロールの使い方	25
オーディオの使い方	26
コンピュータ イメージの最適化	27
プレゼンテーション機能	27
ビデオ イメージの最適化	28
プロジェクタのカスタマイズ	28
メニューの使い方	29
[映像] メニュー	30
[設定] メニュー	33
保守	37
レンズのクリーニング	37
投影ランプの交換	38
ほこりフィルタのクリーニング	40
セキュリティ ロックの使い方	40
付録	41
アクセサリ	41
赤い LED とプロジェクタのエラー	42
投影イメージ サイズ	42

プレゼンテーション システムのセットアップを行ったことがある場合は、付属のクイック セットアップカードを使用してください。プロジェクタの接続と操作に関する詳しい説明については、このユーザーズ ガイドを参照してください。このユーザーズ ガイドの多言語による電子ファイル バージョンが付属のCDに収録されています。または、InFocus のウェブサイトからダウンロードしていただくこともできます。

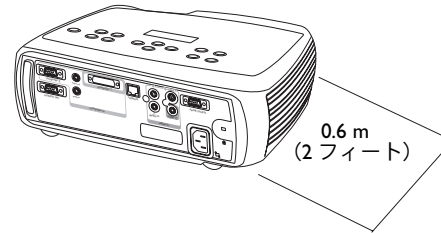
InFocus のウェブサイトには、技術仕様（インタラクティブ画像サイズ計算器、ノートブック表示開始コマンド、コネクタ ピンの配列、用語集、製品のデータシードなど）、アクセサリを購入できるウェブストア、オンライン登録ページなどがあります。連絡先および関連ウェブサイトのアドレス一覧については、裏カバーの内側をご覧ください。

安全に関する重要な操作上の注意

- プロジェクタを15度以上の傾斜面に置かないでください。
- プロジェクタの通気または排気口に障害物を置かず、通気のよい場所に置いてください。テーブルクロスや通気口を塞ぐ可能性のある柔らかい布の上にプロジェクタを置かないでください。
- プロジェクタは、暖房および冷房機器の通気口から1.2 m (4 フィート) 以上離れた場所に置いてください。
- 認定されている天井吊り方式のみを使用してください。
- 付属の電源コードのみを使用してください。サージ保護されたコンセントの使用をお勧めします。
- 正しい起動およびシャットダウン手順については、このマニュアルを参照してください。
- ランプが破損することは稀ですが、万が一破裂した場合を考慮して、プロジェクタの周りに食べ物を置かないようにしてください。また、プロジェクタの側面に物を置かないようにしてください。破損したランプのクリーニングおよび取り扱いは、必ず手を洗淨してください。この製品には、ごく少量の水銀を含むランプが付属しています。この製品を廃棄する場合は、地域、州や都道府県、国の規則および法律に従ってください。詳しくは、www.eiae.org を参照してください。

画像の質を維持し、プロジェクタの寿命時間を越えるランプ時間を達成するため、マニュアルに記載されている手順に従ってください。これらの手順に従わない場合は、完全に保証が適用されない場合があります。保証に関する詳細は、このユーザーズガイドの終わりにある「保証」を参照してください。

プロジェクタの側面2フィート以内に物を置かないでください。また、このエリアに立たないようにしてください。天井吊り設置には、このエリアを5フィートとしてください。



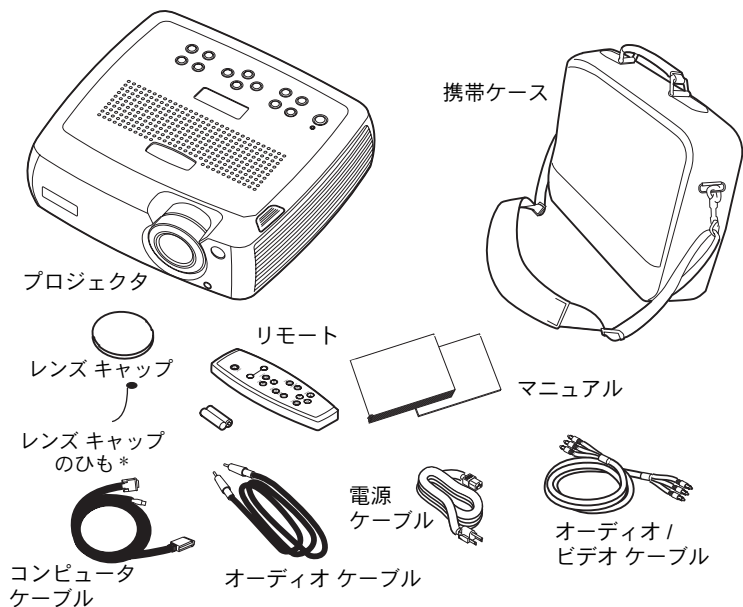
はじめに

このデジタル プロジェクタでは、コンピュータおよびビデオ入力を利用できます。解像度は、XGA 1024x768 です。この製品は、接続、使用、および保守が簡単なプロジェクタです。プロジェクタの上部にあるインタラクティブディスプレイにより、プロジェクタのステータスが表示されます。

オンライン登録

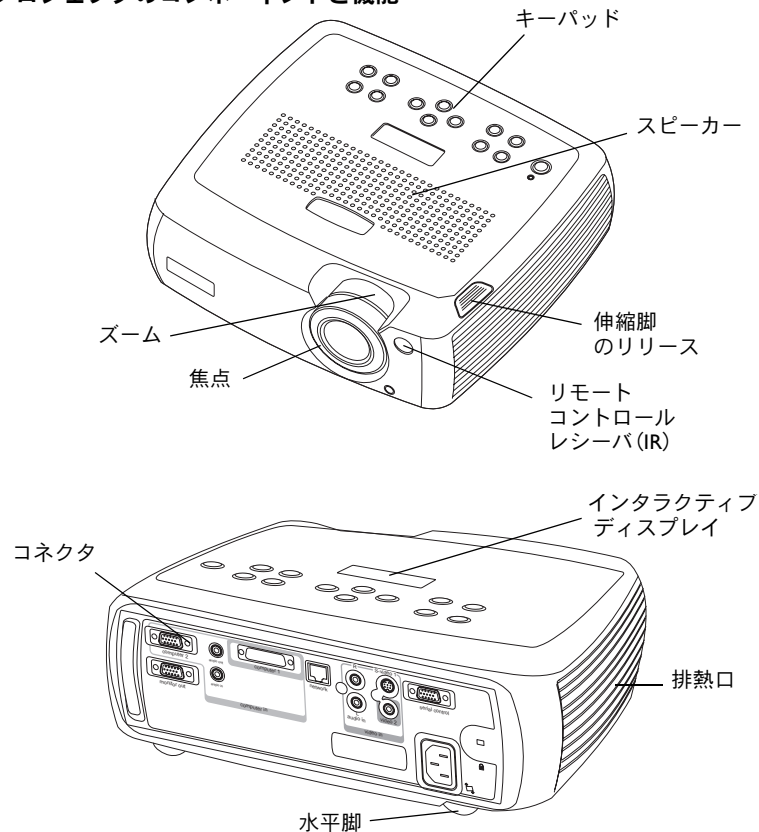
プロジェクタをオンラインで登録すると、製品のアップデート、通知、登録のお礼を提供させていただきます。ウェブアドレスは、このガイドの裏カバー内側に記載されています。

付属品



* レンズキャップのひもは、マニュアルパックに梱包されています。必要に応じて、レンズキャップとプロジェクタに取り付けてください。

プロジェクタのコンポーネントと機能



コネクタ パネル

標準バージョンには、コンピュータ コネクタ1つ、およびビデオ コネクタ2つが付属しています。

- M1-D/A (HD、DVI、コンピュータ) (1)
- S-ビデオ (1)
- コンポジット RCA (1)

さらに、シリアル制御用の RS-232 シリアル コネクタも付属しています。コマンド ライン インターフェイス (CLI) 仕様およびコマンドは、弊社ウェブサイトに記載されています。

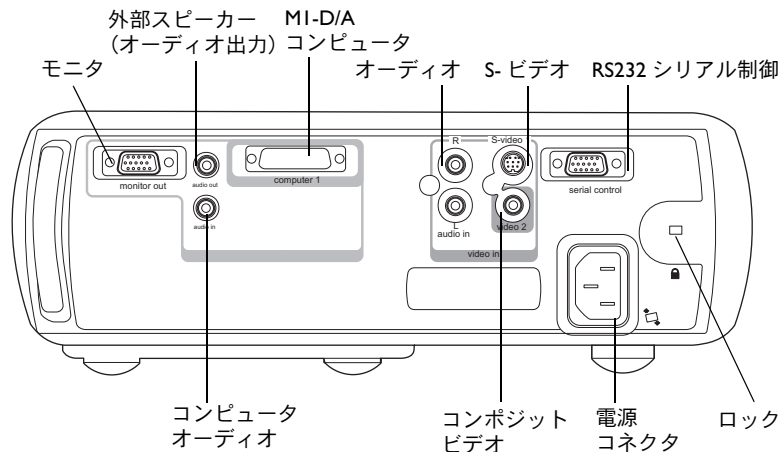
拡張バージョンには、さらに VESA コンピュータ入力 (HD、HD コンポーネント、およびコンピュータ) と ProjectorNet ソフトウェアを介したネットワークによる制御を行うための RJ-45 コネクタも付属しています。

ワイヤレスによる投影

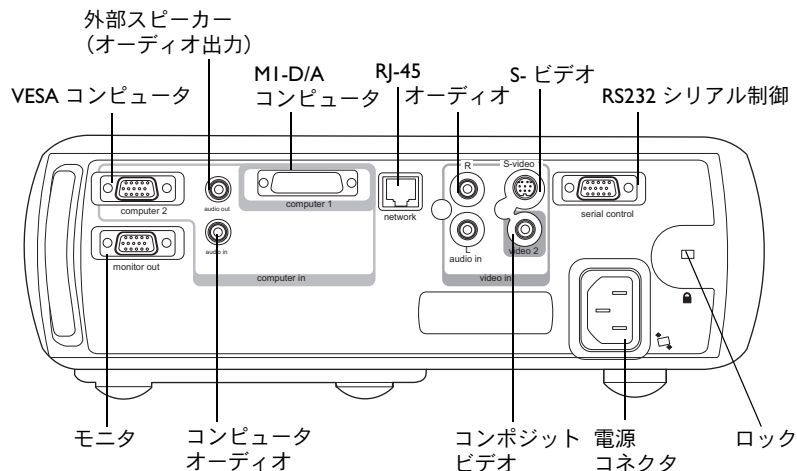
InFocus® に付属のプロジェクトの M1 コネクタを使用します。LiteShow® ワイヤレスアダプタおよびソフトウェアは、ケーブルを使わない投影が可能にします。詳しくは、InFocus の認定代理店にお問い合わせになるか、このユーザーズガイドの裏面に記載されている InFocus のウェブページをご覧ください。



標準バージョンのコネクタ パネル



拡張バージョンのコネクタ パネル



コンピュータへの接続

必要なコンピュータ接続

コンピュータケーブルの黒い端をプロジェクトの **Computer I** コネクタに接続します。青い端をコンピュータのビデオポートに接続します。デスクトップコンピュータを使用している場合は、まずコンピュータのビデオポートからモニターケーブルを取り外してください。

黒い電源ケーブルをプロジェクトの背面に接続して、プラグをコンセントに差し込みます。

プロジェクトのキーボードにある電源 LED が緑色に点灯します。

注意: 必ずプロジェクトに付属している電源ケーブルを使用してください。

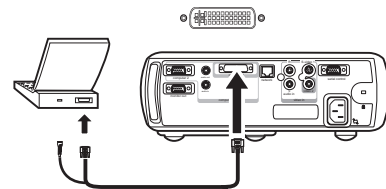
オプションのコンピュータ接続

リモートを使って PowerPoint™ プレゼンテーションでスライドを進めるには、コンピュータケーブルの USB コネクタをコンピュータの USB マウス コネクタに差し込みます。USB 機能を使用するには、USB ドライバをインストールしなければなりません。詳しくは、11 ページを参照してください。

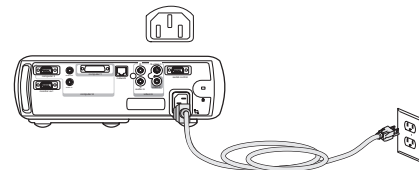
プレゼンテーションでサウンドを使用する場合は、オーディオケーブルをコンピュータおよびプロジェクトのコンピュータ **Audio In** コネクタに接続します。

デスクトップコンピュータを使用していてプロジェクト画面とコンピュータの画面の両方にイメージを表示する場合は、モニターケーブルをプロジェクトの **Monitor Out** コネクタに接続します。

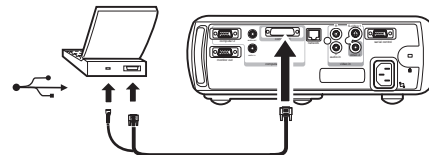
コンピュータ ケーブルを接続



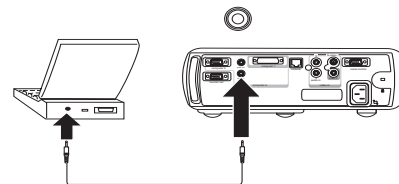
電源コードを接続



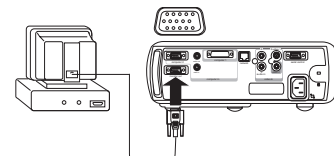
コンピュータ ケーブルを接続



オーディオ ケーブルを接続

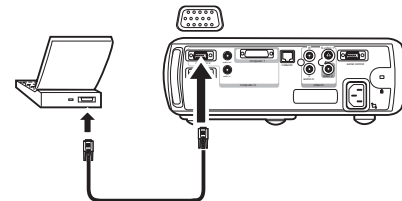


モニター ケーブルを接続



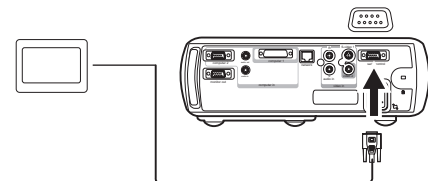
オプションの VESA ケーブルを使用してコンピュータとプロジェクタを接続する場合は、ケーブルの一端をコンピュータの VESA ポートに接続し、ケーブルのもう一端をプロジェクタの青い **Computer 2** コネクタに接続します。

VESA ケーブルを接続



RS-232 ケーブルをプロジェクタの **Serial** コネクタに接続して、プロジェクタを LCD コントロールパネルまたはコンピュータから制御できます。RS-232 のコマンドは、InFocus ウェブページのサービスおよびサポートセクションに記載されています。

RS-232 ケーブルを接続

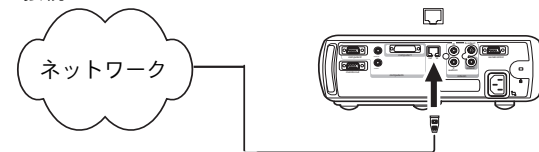


拡張バージョンのプロジェクタは、**Network** コネクタを通して ProjectorNet ネットワーキングソフトウェアによって管理できます。

ProjectorNet については、認定代理店にお問い合わせになるか、ウェブサイトをご覧ください。



ネットワーク ケーブルを接続



コンピュータイメージの表示

レンズ キャップを取り外します。

プロジェクタの上部またはリモート コントロールにある **Power** ボタンを押します。

LED が緑色に点滅し、ファンが回転します。ランプがオンになると、起動画面が表示され LED が点滅から点灯に変わります。イメージが完全な明るさになるまで 1 分ほどかかる場合があります。プロジェクタのインタラクティブ ディスプレイに、起動ステータスが示されます。

? 起動画面が表示されない場合 17 ページを参照してください。

コンピュータの電源を入れます。

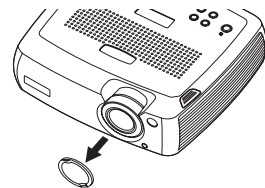
コンピュータのイメージがプロジェクタの画面に表示されるはずですが、画面が表示されない場合は、プロジェクタのキーパッドで **Computer** ボタンを押します。

ノートブック コンピュータの外部ビデオ ポートがアクティブになっていることを確認してください。

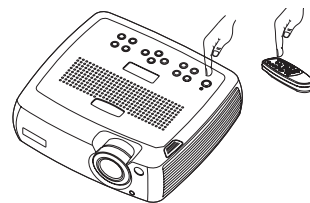
プロジェクタを接続しても、多くのノートブック コンピュータの外部ビデオポートは自動的にアクティブにはなりません。FN + F5 などのキー操作を使って、外部ディスプレイのオンとオフを切り替えます。ノートブック コンピュータ特有のキー操作については、ノートブック コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

? コンピュータのイメージが表示されない場合 キーパッドの **Auto Image** ボタンを押してみてください。17 ページを参照してください。

レンズキャップを外す



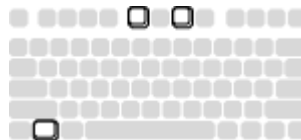
Power ボタンを押す



コンピュータの電源をオンにする



ノートブックコンピュータの外部ポートを有効にする



Windows 98 で最初にプロジェクトを使用する 場合

Windows 98 を実行しているコンピュータにプロジェクトを最初に接続すると、コンピュータがプロジェクトを「新しいハードウェア」として認識し、[新しいハードウェアの追加] ウィザードが表示されます。このウィザードを使って Windows オペレーティング システムにインストールされているドライバから正しいドライバを読み込むには、画面に表示される指示に従います。

Windows 2000、Windows ME、Windows XP を実行している場合は、これらの手順をスキップして 12 ページページの「イメージの調整」に進んでください。

a [次へ] をクリックしてドライバの検索を開始します。

b [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] が選択されていることを確認してください。それから、[次へ] をクリックします。

c チェックボックスの選択をすべて解除して[次へ]をクリックします。Windows が自動的にドライバを見つけます。このドライバが削除されている場合は、Windows のオペレーティング システム CD を使ってドライバを再度読み込んでください。

d Windows がドライバを見つけたら、ドライバをインストールする準備が整います。[次へ] をクリックします。

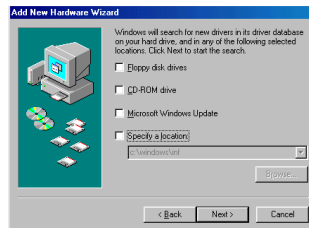
a



b



c



d



MI コンピュータ ケーブルの USB 部分を接続しない場合は、このページをスキップしてください。

Windows 98 の場合：

- USB ケーブルを接続した場合は、[新しいハードウェアの追加]ウィザードが再度表示されます。USB 機能を使用するには、ドライバをインストールしなければなりません。
- **ウィザードは次のように 2 回起動されます。**

1 回目は USB ヒューマンインターフェイス デバイス (キーボード用) を検出します。

2 回目は USB ヒューマンインターフェイス デバイス (マウス用) を検出します。

Windows 2000、Windows ME、Windows XP の場合：

- USB ドライバは自動的にインストールされます。

イメージの調節

必要ならば、リリースボタンを押して伸縮脚を伸ばし、プロジェクタの高さを調節します。

必要ならば、プロジェクタの背面下部右側にある水平脚を回転させて水平度を調節します。

プロジェクタをスクリーンに対して 90 度の方向でスクリーンから適切な距離を離れた位置に設置します。

スクリーンのサイズと距離のリストには、42 ページを参照してください。

適切なイメージサイズと焦点になるまでズームまたは焦点リングを回します。

イメージが正方形でない場合は、キーパッドのボタンを使って垂直デジタル キーストーンを調節します。

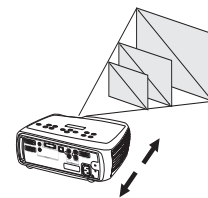
上の **Keystone** ボタンを押すと、イメージの上部サイズを小さくできます。下の **Keystone** ボタンを押すと、イメージの下部サイズを小さくできます。メニューを使って拡張バージョンの水平キーストーンを調節する、または自動的に垂直キーストーンを調節するようにプロジェクタを設定することもできます。30 ページを参照してください。

[映像] メニューで [コントラスト] または [明るさ] を調節します。

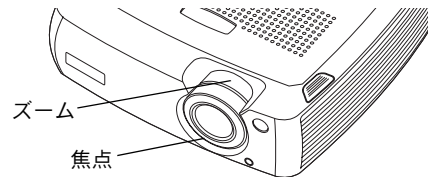
メニューについては 29 ページを参照してください。



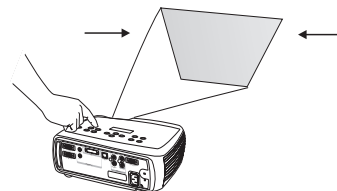
距離の調節



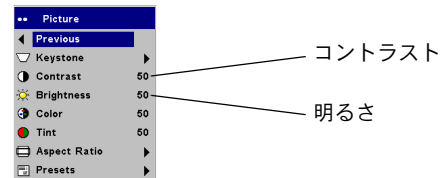
ズームおよび焦点の調節



キーストーンの調節



コントラストまたは明るさの調整



ビデオ デバイスの接続

標準のビデオ接続

付属のオーディオ / ビデオケーブル (A/V) の黄色いコネクタをビデオデバイスのビデオ出力コネクタに差し込みます。もう一方の黄色いコネクタをプロジェクトの黄色い **Video 2** コネクタに差し込みます。

白いコネクタをビデオ デバイスの左のオーディオ出力コネクタに、赤いコネクタをビデオ デバイスの左のオーディオ出力コネクタに差し込みます。残りの白いコネクタをプロジェクトの左の **Audio In** コネクタに、赤いコネクタをプロジェクトの右の **Audio In** に差し込みます。

黒い電源ケーブルをプロジェクトの背面に接続してから、プラグをコンセントに差し込みます。

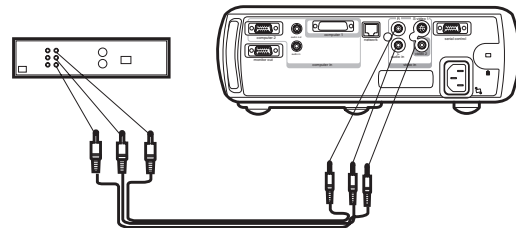
注意: 必ずプロジェクトに付属している電源ケーブルを使用してください。

オプションのビデオ接続

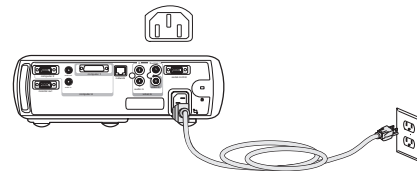
ビデオデバイスが丸い 4 ピンの S-ビデオコネクタを使用している場合は、S-ビデオケーブル (別売り) をビデオデバイスの S-ビデオコネクタとプロジェクトの

S-Video 1 コネクタに差し込みます。上記のように直接 A/V ケーブルのオーディオコネクタを使用します (A/V ケーブルの黄色いコネクタは使用しません)。

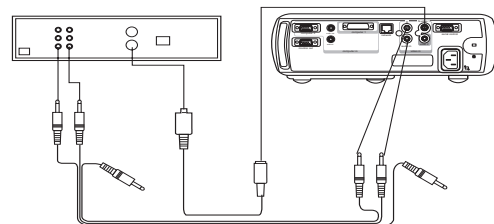
A/V ケーブルを接続



電源コードを接続



S-ビデオおよび
ビデオケーブルを接続



ビデオ イメージの表示

レンズ キャップを取り外します。

プロジェクタの上部またはリモート コントロールにある **Power** ボタンを押します。LED が緑色に点滅し、ファンが回転します。ランプがオンになると、起動画面が表示され LED が点滅から点灯に変わります。イメージが完全な明るさになるまで 1 分ほどかかる場合があります。プロジェクタのインタラクティブディスプレイに、起動ステータスが示されます。

? 起動画面が表示されない場合 16 ページを参照してください。

ビデオ デバイスを接続して電源を入れます。

ビデオ デバイスのイメージがプロジェクタの画面に表示されるはずですが、画面が表示されない場合は、キーパッドで **Video** ボタンを押します。

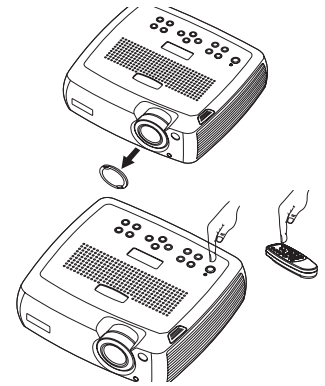
リリースボタンを押して伸縮脚を伸ばし、プロジェクタの高さを調節します。必要ならば、水平調整脚を回します。

プロジェクタをスクリーンに対して 90 度の方向でスクリーンから適切な距離を離れた位置に設置します。スクリーンのサイズと距離のリストには、42 ページを参照してください。

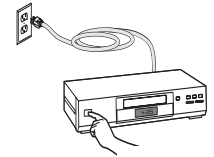
レンズキャップを外す



Power ボタンを押す



ビデオ デバイスの電源を入れる



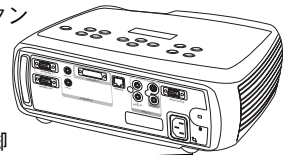
高さの調節

脚を上げる

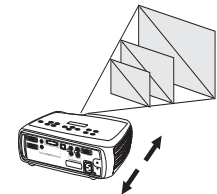


リリース ボタン

水平脚を回す



距離の調節



適切なイメージサイズと焦点になるまでズームまたは焦点リングを回します。

イメージが正方形でない場合は、キーパッドのボタンを使って垂直キーストーンを調節します。

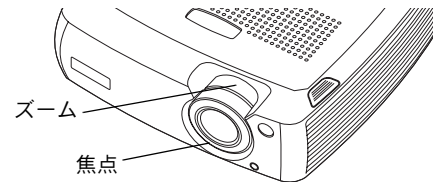
上の **Keystone** ボタンを押すと、イメージの上部サイズを小さくできます。下の **Keystone** ボタンを押すと、イメージの下部サイズを小さくできます。メニューを使って拡張バージョンの水平キーストーンを調節する、または自動的に垂直キーストーンを調節するように 프로젝タを設定することもできます。30 ページを参照してください。

キーパッドまたはリモート コントロールで音量を調節します。

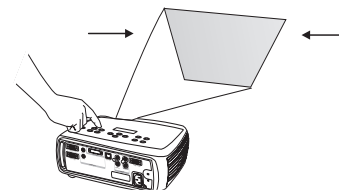
[映像]メニューで [コントラスト]、[明るさ]、[色の濃さ]、[色あい]を調節します。

メニューについては 29 ページを参照してください。

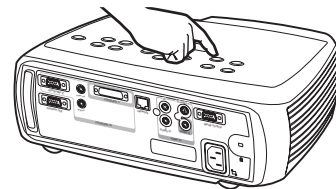
ズームおよび焦点の調節



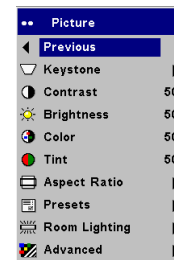
キーストーンの調節



音量の調節



[映像]メニューの調節



プロジェクトのシャットダウン

30 分間アクティブなソースが検出されないと、プロジェクトが自動的に黒い画面を表示します。この空白画面により、プロジェクトの寿命が延びます。アクティブなソースが検出されるか、リモートコントロールかキーボードのボタンを押すとイメージが再度表示されます。プロジェクトのインタラクティブディスプレイに、シャットダウンのステータスが示されます。

スクリーンセーバー

[設定] > [システム] メニューで [スクリーンセーバー] をオンにすると、5 分間で空白画面を表示することができるようになります。33 ページを参照してください。[スクリーンセーバー] 機能には、6 つの時間オプションがあります。オプションは 5 分～30 分で、5 分間隔で設定できます。

節電モード

プロジェクトには、信号が 5 分間検出されなかった場合にプロジェクトのランプを自動的にオフにする節電機能も付属しています。さらに 3 分間信号が検出されない状態が続くと、プロジェクトの電源が切れます。プロジェクトの電源が切れる前にアクティブな信号を受信すると、イメージが再度表示されます。30 分経過した後にイメージを表示するには **Power** ボタンを押してください。節電機能が使用可能になっている場合には、スクリーンセーバーは使用不可になります。33 ページを参照してください。

プロジェクトの電源オフ

プロジェクトの電源を切るには、**Power** ボタンを押して再度 **Power** ボタンを 3 秒間押し続けて電源が切れたことを確認します。2 回目に **Power** ボタンを押さないでおくと、シャットダウンをキャンセルできます。ランプがオフになり LED が 1 分間緑色に点滅します。ファンはランプを冷却するために回転し続けます。ランプが冷えると LED の緑のライトが消えファンが停止します。電源ケーブルを取り外しプロジェクトの電源を完全に切ります。

セットアップのトラブルシューティング

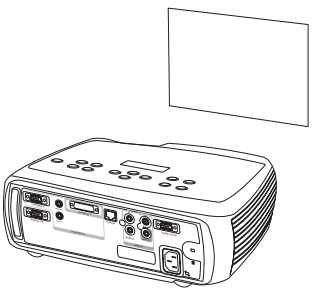
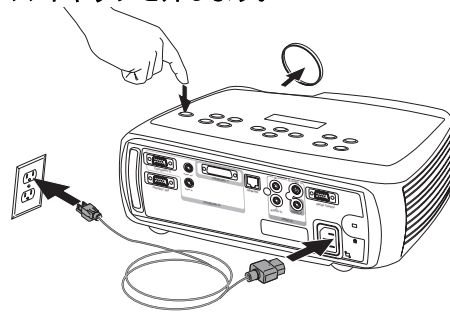
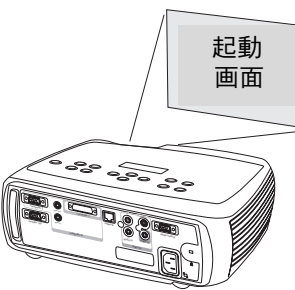
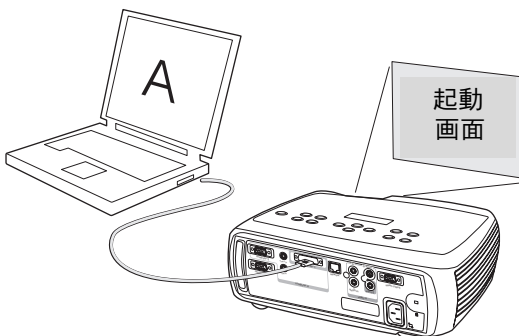

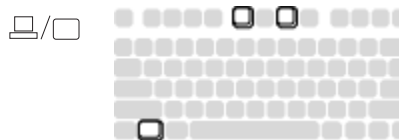
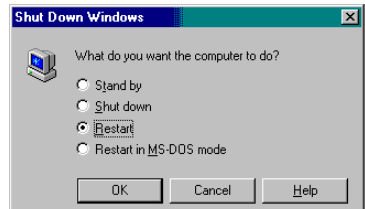
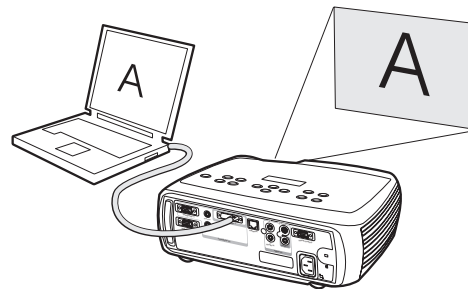
画面にイメージが正しく表示される場合は、次のセクション (25 ページ) に進んでください。イメージが正しく表示されない場合は、セットアップのトラブルシューティングを行います。プロジェクトの上部にあるインタラクティブディスプレイと LED は、プロジェクトの状態を示すため、トラブルシューティングに役立ちます。

表 1: LED の動作と意味

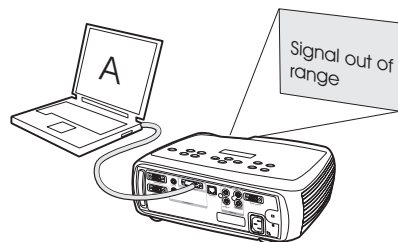
LED の色 / 動作	意味
緑に点灯	プロジェクトに電源コードを差し込み電源プラグをコンセントに差し込むか、プロジェクトの電源をオンにしてソフトウェアが初期化されました。プロジェクトの電源がオフになりファンが停止しました。
緑に点滅	電源ボタンが押されソフトウェアが初期化されたか、プロジェクトの電源がオフになったがランプの冷却用にファンが回転しています。
赤に点滅 (詳しくは、42 ページを参照してください。)	ファンまたはランプが故障しています。通気口が塞がれていないかどうかを確認してください (22 ページを参照)。プロジェクトの電源を切り 1 分間待機してから、プロジェクトを再度オンにします。ランプを交換するように促すメッセージが表示された場合は、ランプを交換して、ランプタイマーをリセットします。問題が解決できない場合は、テクニカルサポートまでお問い合わせください。
赤に点灯	識別できないエラー: テクニカルサポートにお問い合わせください。

次の表に一般的な問題を示します。解決法が複数記載されている場合があります。記載されている順番に解決法を試してください。問題が解決された場合は、残りの解決法は無視してください。

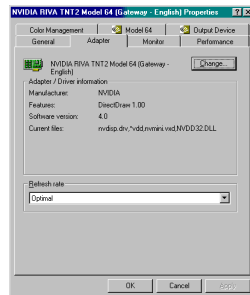
ソースのトラブルシューティング

問題	解決法	結果
<p>起動画面が表示されない</p> 	<p>電源ケーブルを差し込み、Power ボタンを押します。レンズキャップを外します。</p> 	<p>正しいイメージ</p> 
<p>起動画面のみが表示される</p> 	<p>Computer ボタンを押します。 </p> <p>ノートブックコンピュータの外部ポートを有効にします。</p>  <p>または ノートブックの再起動。</p> 	<p>コンピュータのイメージが表示されます。</p> 

コンピュータのイメージが表示されず、「シグナルは範囲外です」というメッセージだけが表示される。

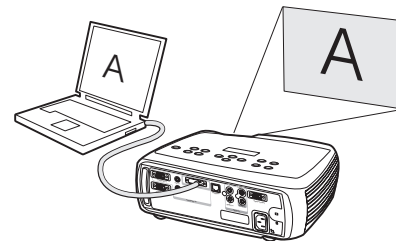


[コントロールパネル]>[画面]>[設定]>[詳細]>[アダプタ]でリフレッシュレートを調整します（場所は、オペレーティングシステムによって異なります）。

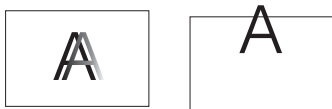


次のような「イメージが不鮮明または途中で切れる」のような問題は、コンピュータの解像度を変更する必要が生じる場合があります。

コンピュータのイメージが表示されます。

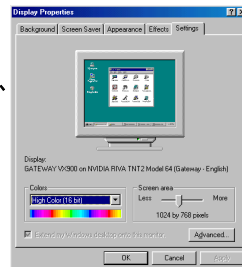


イメージがぼやけているまたは表示されない部分がある



コンピュータのディスプレイ解像度をプロジェクトのネイティブ解像度に設定します ([スタート]> [コントロールパネル]> [画面]> [設定]> タブで 1024x768 を選択します)。

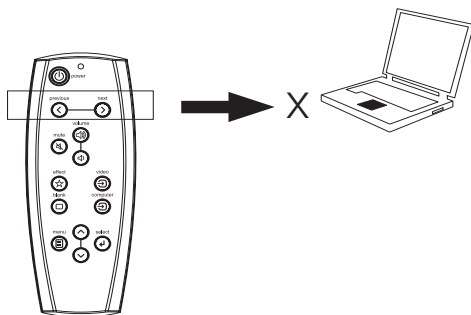
ノートブックコンピュータでは、ノートブックのモニタまたはデュアルディスプレイモードをオンにする。



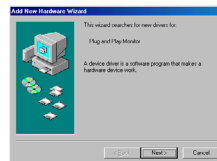
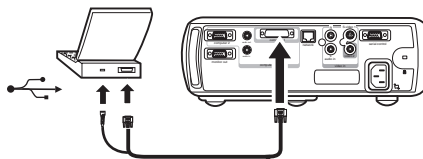
イメージが鮮明で完全に表示されます



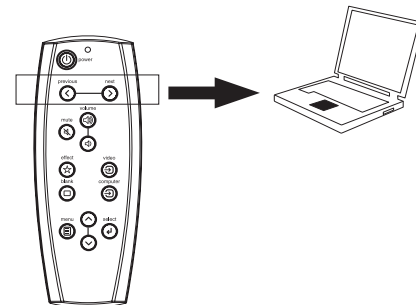
リモートコントロールで PowerPoint スライドを進めることができない



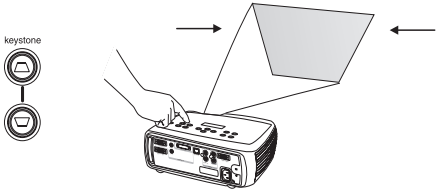


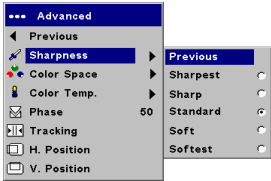

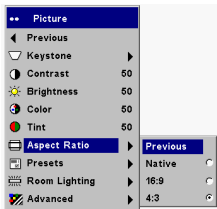
USB ケーブルを接続 (7 ページ) してから、必要に応じて USB ドライバを読み込みます (10 ページ)。



リモートでスライドを進めることができるようになります。
リモートコントローラについて詳しくは、25 ページを参照してください。



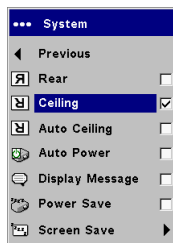
プロジェクトのトラブルシューティング

問題	解決法	結果
<p>イメージが正方形ではない</p> 	<p>キーパッドまたは [映像] メニューでキーストーンを調節します。</p> 	<p>正方形のイメージ</p> 
<p>イメージが鮮明ではない</p> 	<p>レンズの焦点または [映像] > [詳細設定] メニューで [シャープネス] を調節します。</p> 	<p>正しいイメージ</p> 
<p>イメージが 16:9 の画面に収まらない</p> 	<p>[映像] > [画面サイズ] メニューで比率を 4:3 または 16:9 に変更します。</p> 	<p>正しいイメージ</p> 

イメージが上下反対である



[設定]>[システム設置]メニューで[天井吊り]をオフにします。



正しいイメージ



イメージが左右反対である



[設定]>[システム設置]メニューで[リア装置]をオフにします。



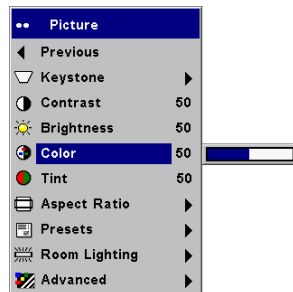
正しいイメージ



投影された色が信号源の色と合わない



メニューで色の濃さ、色あい、色温度、明るさ、コントラストを調節します。

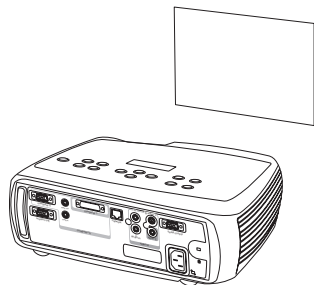


正しいイメージ

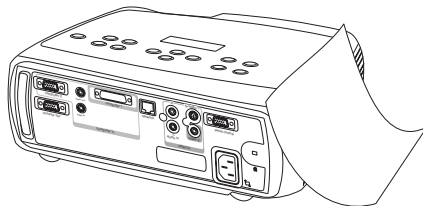
COLOR

ランプがオンにならず、LED が赤く点滅する
(16 ページ)

赤く
点滅

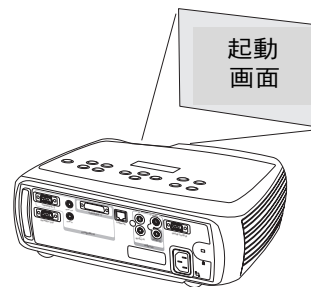


通気口が塞がれていないことを確認してください。
 프로젝タを1分間冷却させてください。



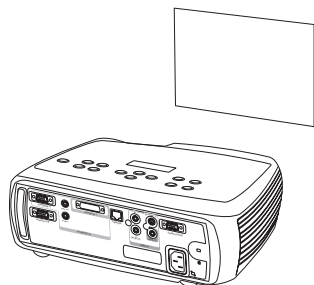
電源コードを抜いてから1分間待機した後
で、電源コードを差し込んで電源を入れます。
ランプが点灯します。

起動
画面

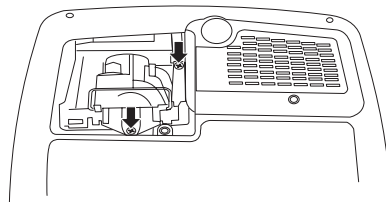


ランプがオンにならず、LED が赤く点滅する
(16 ページ)

赤く
点滅

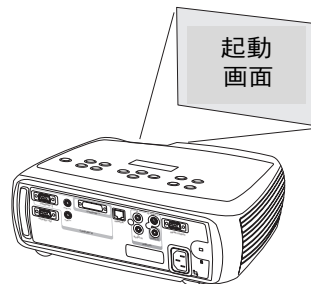


ランプを交換します (38 ページ)。

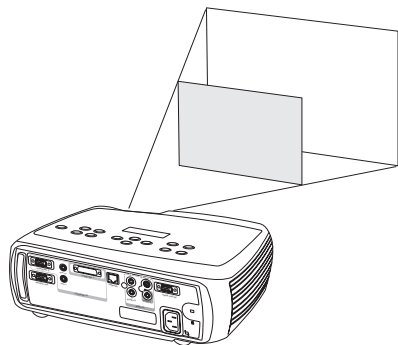


ランプがオンになります。

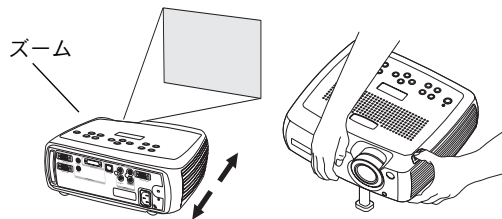
起動
画面



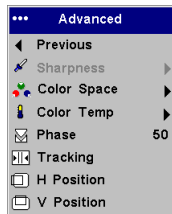
イメージが画面の中央に表示されない



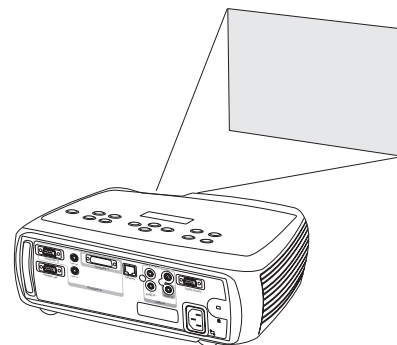
프로젝タを移動、ズームの調節、高さの調節を行ってください。



水平または垂直位置を調節します
([映像]>[詳細設定]メニュー)。



正しいイメージ



それでも問題が解決できない場合

この製品のトラブルシューティングには、InFocus のウェブサイトをご覧ください。または、InFocus までご連絡ください。連絡先および関連ウェブサイトのアドレス一覧については、裏カバーの内側をご覧ください。

この製品には2年間の限定保証が付属しています。代理店から延長期間の保証を購入していただくこともできます。 프로젝タを修理のために返送する場合は、機器を元のパッケージ材を使って梱包するか、専門の梱包業者に依頼して梱包することをお勧めします。機器の輸送する場合に適切な保護を提供するオプションの ATA 輸送ケースを購入していただくこともできます。機器を返送する場合は、製品の価格に見合う保険をかけるようにしてください。

キーパッドボタンの使用

ほとんどのボタンは他の節で詳しく説明されています。ここでは、その機能の概要を説明します。

power - プロジェクタの電源オン（9 ページ） とオフ（14 ページ） を切り替えます。

menu - スクリーン メニューを開きます（29 ページ）。

select - メニューの項目を選択します（29 ページ）。

上 / 下方向矢印 - メニューのナビゲートおよび設定の調整を行います 29 ページ）。

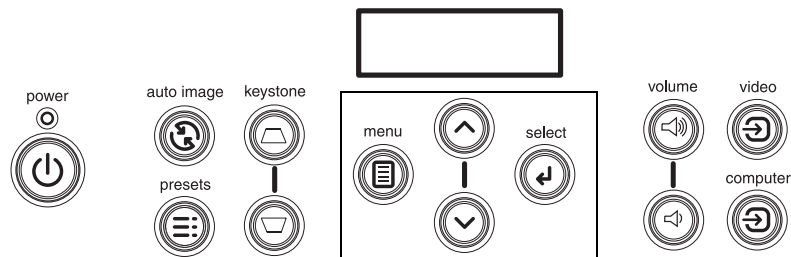
auto image - プロジェクタへの信号源をリセットします。

presets - 利用できるモードを切り替えます（31 ページ）。

keystone - 垂直キーストーンは、イメージの正方性を調節します（12 ページ）。拡張バージョンでは、メニューを使って水平キーストーンを調節することもできます。30 ページを参照してください。

volume - サウンドを調節します（26 ページ）。

video および **computer** - 入力源を変更します。



メニューのナビゲーション ボタン

リモートコントロールの使い方

リモートコントロールは単3電池2個とともに出荷されています。電池は、リモートコントロールの背面にあるカバーをスライドさせて簡単に取り付けることができます。電池を挿入する際には、電池の+および-電極を合わせ収納部に収め、カバーを取り付けてください。

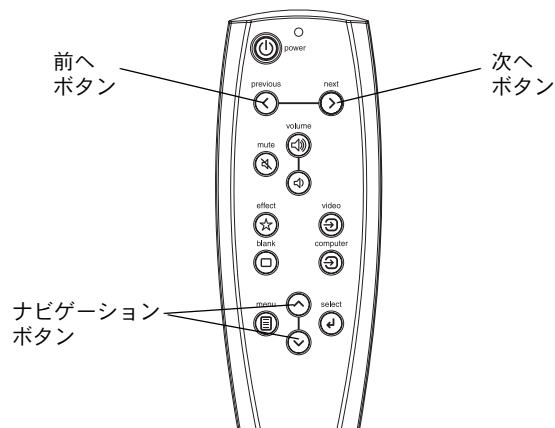
リモートコントロールを使用するには、リモートコントロールをコンピュータではなく投影画面またはプロジェクタ向けます。最適な操作範囲は約9.14m (30 フィート) です。

スライドショーモードの場合、**Previous** および **Next** ボタンを使うと、PowerPoint プレゼンテーションをナビゲートできます。これらのボタンを使用するには、コンピュータケーブルのUSBコネクタをコンピュータに接続します。最初にUSBコネクタをコンピュータに接続した場合は、[新しいハードウェアの追加]ウィザードが表示されます。正しいUSBドライバの読み込みについて詳しくは、10ページを参照してください。

リモートコントロールの **Menu** ボタンを押す、プロジェクタのメニューシステムが開きます。矢印ボタンを使ってメニューをナビゲートし、**Select** ボタンを使ってメニューの機能を選択したり値を調節します。メニューについての情報は、29ページを参照してください。

リモートには、プロジェクタの電源をオンおよびオフにする **Power** ボタン (シャットダウンについては、16ページを参照)、サウンドを制御する **Volume** および **Mute** ボタン、信号源を切り替える **Video** および **Computer** ボタンがあります。

2つのプレゼンテーション特有の機能もあります。現在のスライドではなく空白の画面を表示するには、**Blank** ボタンを使用します (表示する色を指定できます。詳しくは34ページを参照)。フリーズやズームなどのユーザー定義可能なアクションを実行するには **Effect** ボタンを使用します (このボタンをプログラムするには35ページを参照してください)。



リモートコントロールのトラブルシューティング

- 電池が正しい方向に収納されていることを確認してください。また、電池が切れていないかも確認します。ボタンを押したときに電池の電圧が十分である場合は、リモートの上部にあるLEDが点灯します。
- リモートコントロールはコンピュータではなくプロジェクタまたはスクリーンをポイントします。プロジェクタからの距離が約9.14 m (30 フィート) 以内であることを確認してください。
- PowerPointのスライドを進める場合は、USBケーブルが接続されているかどうかを確認してください。USBケーブルを使用している場合は、正しいドライバがインストールされていることを確認してください。

オーディオの使い方

プロジェクトからのサウンドを再生するには、ソースをプロジェクトの **Audio In** コネクタに接続します。

音量を調節するには、キーボードまたはリモートコントロールのボタンを使用してください。

プロジェクトのチャイムのバランスまたはオンとオフを調節するには、[音声] メニューを使用します (33 ページ)。

消音するには、**Mute** ボタンを押します。

オーディオのトラブルシューティング

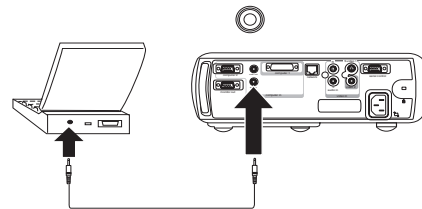
サウンドが再生できない場合は、次のことを確認してください。

- オーディオケーブルが接続されている。
- 消音をオンにしていない。
- 音量が十分な大きさに調整されている キーボードまたはリモートコントロールの **Volume** ボタンを押します。
- オーディオの信号源を調整します。
- ビデオを再生している場合は、再生機能が一時停止になっていないことを確認します。

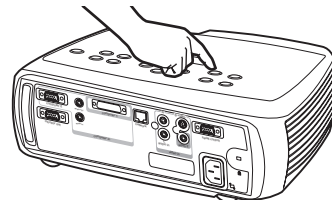
外部スピーカーの接続

プロジェクトを独自の電源を使用する外部スピーカーに接続できます。これには、スピーカーのケーブルをプロジェクトの **Audio Out** コネクタに接続します。

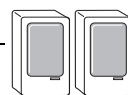
オーディオケーブルを接続



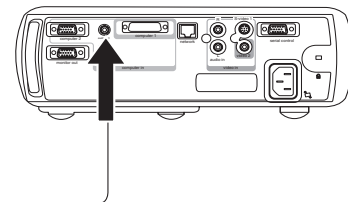
音量の調節



外部
スピーカー



スピーカー
ケーブル



コンピュータ イメージの最適化

コンピュータを正しく接続しコンピュータのイメージが画面に表示されたら、画面のメニューを使用してイメージを最適化できます。メニューの使い方に関する一般的な情報には、29 ページを参照してください。

- [映像]メニューで[台形補正],[コントラスト]または[明るさ]を調節します。
- [画面サイズ]を変更します。詳しくは、30 ページを参照してください。
- [詳細設定]メニューで[色温度]を調節します。
- [詳細設定]メニューで[位相],[水平サイズ],[水平位置],[垂直位置]を調節します。
- 特定のソース用にイメージを最適化したら、[ガンマ補正]を使ってその設定を保存できます。これにより、設定を後で素早く利用することができます。31 ページを参照してください。
- [部屋の明るさ]を調節します。暗い部屋の場合は[暗い]、明るい部屋の場合は[明るい]を選択します (31 ページ)。

プレゼンテーション機能

プレゼンテーションをより簡単に行うための機能が付属しています。次に概要を示します。詳しくは、29 ページページのメニュー セクションを参照してください。

- リモートコントロールの **Effect** ボタンを使うと、ボタンにさまざまな機能を割り当てることができます。デフォルトの機能は、[フリーズ]です。キーには、[空白],[消音],[アスペクト比],[ソース],[自動調整],[フリーズ],[ズーム],[インフォメーション],[PiP],[マスク]機能を割り当てることができます。詳しくは、35 ページを参照してください。
- [フリーズ]機能を使用すると、表示されているイメージをフリーズできます。これは、イメージを画面に表示しないでコンピュータでイメージを修正するような場合に便利です。
- リモートコントローラの **Blank** ボタンを使用すると、アクティブな信号源の代わりに空白の画面を表示できます。34 ページを参照してください。
- [PiP]機能を使うと、コンピュータ イメージの上部にある小さなウィンドウにビデオソースを表示できます。35 ページを参照してください。
- [起動ロゴ]メニューのオプションを使用すると、デフォルトの起動画面を黒、白、青のいずれで表示するかを変更できます。34 ページを参照してください。
- [節電モード]および[スクリーンセーバー]の2つのオプションは、特定の時間内に操作が何も行われなかった場合にプロジェクトを自動的にシャットダウンしたり、黒い画面を表示するためのオプションです。これはランプの寿命を延ばすのに役立ちます。33 ページを参照してください。

ビデオ イメージの最適化

ビデオ デバイスを正しく接続してイメージが画面に表示されたら、画面のメニューを使用してイメージを最適化できます。メニューの使い方に関する一般的な情報には、29 ページを参照してください。

- [映像]メニューで[台形補正]、[コントラスト]、[明るさ]、[色の濃さ]、[色あい]を調節します。30 ページを参照してください。
- [画面サイズ]を変更します。[画面サイズ]は、イメージの幅の高さに対する比で表わされます。通常テレビ画面は、1.33:1 (4:3 としても知られています)。HDTV およびほとんどの DVD は、1.78:1 (または 16:9) となります。入力源に最適なオプションを選択します。30 ページを参照してください。
- [シャープネス]設定を選択します。32 ページを参照してください。
- [色温度]を調整します。リストされている値を選択するか、[ユーザ]を選択して赤、緑、青の色の強度を個別に調整します。32 ページを参照してください。
- [部屋の明るさ]を調節します。暗い部屋の場合は[暗い]、明るい部屋の場合は[明るい]を選択します (31 ページ)。

プロジェクトのカスタマイズ

特定のセットアップやニーズに合わせてプロジェクトをカスタマイズできます。これらの機能について詳しくは、33 ページ～ 37 ページを参照してください。

- 背面投影には、[設定]>[システム設定]で[背面設置]モードをオンにします。
- 天井吊り投影には、[設定]>[システム設定]で[天吊り設置]モードをオンにします。
- [自動垂直キーストーン]調節をオンにします。
- 電源投入時にプロジェクトがアクティブなビデオのソースをどの種類からチェックするかを指定します。
- リモート コントロールで Effect キーの機能を指定します。
- プロジェクトのディスプレイメッセージをオンおよびオフにします。
- 節電機能をオンにします。
- 空白画面とスタート画面の色を指定します。
- メニューの言語を指定します。
- LiteShow ワイヤレス アダプタを使って、ワイヤレスで投影を行います。6 ページを参照してください。
- ProjectorNet ソフトウェアを使ってプロジェクトを管理します。詳しくは、8 ページを参照してください。
- RS232 コマンドを使ってプロジェクトを制御します。詳しくは、8 ページを参照してください。

メニューの使い方

メニューを開くには、キーパッドまたはリモートコントロールの **Menu** ボタンを押します (ボタンを押さない時間が 60 秒以上続くとメニューが自動的に閉じます)。 [メインメニュー] が表示されます。矢印ボタンを使って選択を上下し、使用するサブメニューをハイライトしてから、 **Select** ボタンを押します。

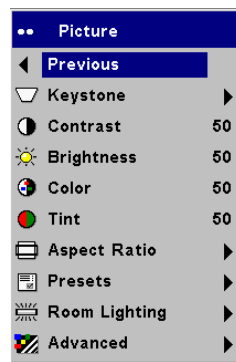
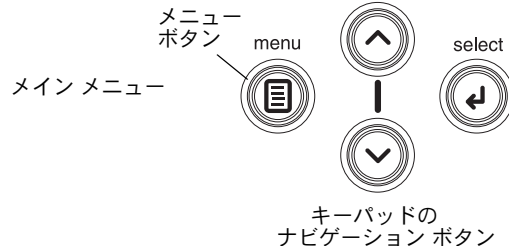
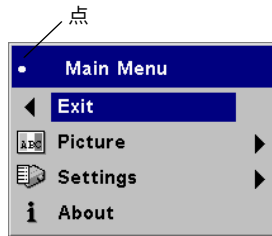
メニュー設定を変更するには、 **Select** を押してから、上下矢印ボタンを使って値を調整、ラジオ ボタンを使ってオプションを選択、またはチェック ボックスを使って機能のオンとオフを切り替えます。 **Select** を押して変更を適用します。矢印ボタンを使って他の設定にナビゲートします。調整が完了したら [終了] までナビゲートし、 **Select** を押して前のメニューに戻ります。 **Menu** ボタンを押していつでもメニューを閉じることができます。

メニュー名の前に点が表示されます。この点はメニューのレベルを示し、1～4 つの点が表示されます。点が 1 つの場合はメインメニュー、点が 4 つの場合はネストされているメニューの最も下位のレベルであることを示しています。

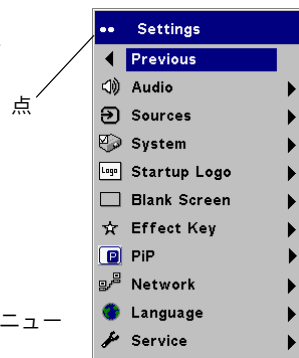
メニューは次のように利用目的によってグループ化されています。

- [映像]メニューではイメージの調整を行います。
- [設定]メニューでは、頻繁には変更しない種類のセットアップを調整します。
- [状態表示]メニューは、プロジェクトおよび入力源の情報を表示する読み取り専用のメニューです。

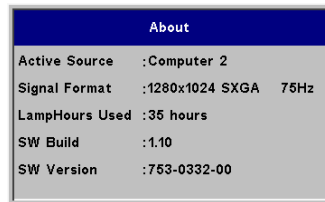
特定のソースを接続しないと表示されないメニュー項目もあります。たとえば、 [シャープネス] はビデオソース専用のメニューで、コンピュータソースを使用しているときは表示されません。利用できない場合は灰色で表示されるメニュー項目もあります。たとえば、イメージがアクティブになるまで [明るさ] は灰色で表示されます。



[映像]メニュー



[設定]メニュー



[状態表示]メニュー

[映像]メニュー

次の6つの設定を調整するには、設定をハイライトして **Select** を押し、上下矢印ボタンを使って値を調整してから [選択] を押して変更を適用します。

垂直台形補正 : イメージを垂直方向に調整してイメージをより正方形に近づけます。キーパッドから垂直キーストーンを調整することもできます。プロジェクトで自動的に垂直キーストーン調整を行うように設定するには、[自動垂直] チェックボックスを選択します。

水平台形補正 : イメージを水平方向に調整してイメージをより正方形に近づけます。このオプションは、拡張バージョンでのみ利用できます。

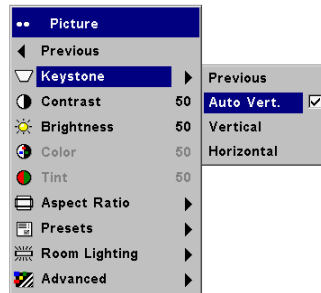
コントラスト : 画像の最も明るい部分と最も暗い部分の差の度合いを制御し、イメージの黒と白の量を変更します。

明るさ : イメージの強度を変更します。

色 : (ビデオおよびコンポーネントソースのみ) ビデオイメージを白黒から完全なカラーに調整します。

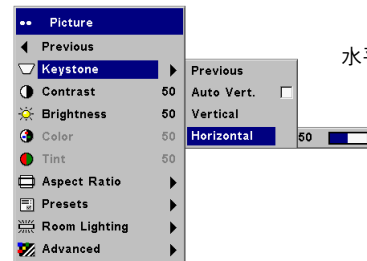
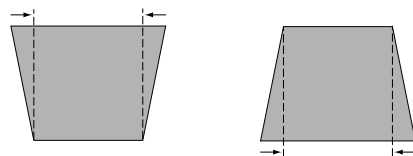
色あい : (NTSC ビデオソースのみ) イメージの赤と緑のバランスを調整します。

画面サイズ : [画面サイズ] は、イメージの幅の高さに対する比で表わされます。通常テレビ画面は、1.33:1 (4:3 としても知られています)。HDTV およびほとんどのDVD は、1.78:1 (または 16:9) となります。デフォルトは、[4:3] で、イメージが表示領域に収まるように入力イメージのサイズが変更されます。

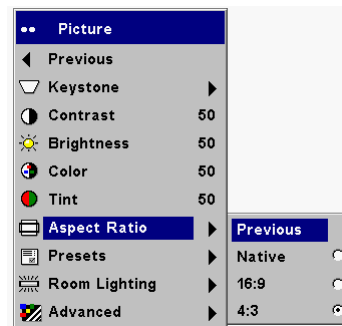
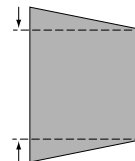


垂直台形補正

キーストーンを上げる キーストーンを下げる



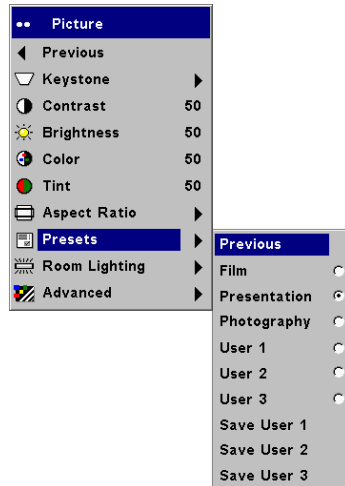
水平台形補正



画面サイズ

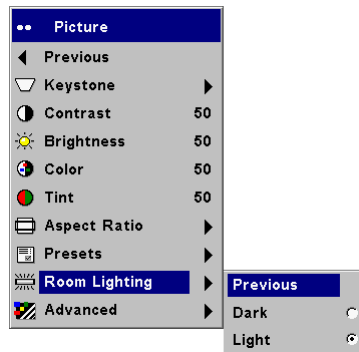
ガンマ補正: プロジェクタに付属のガンマ補正は、コンピュータ プレゼンテーション、写真、フィルム イメージ、ビデオ イメージを表示するために最適化されたイメージを表示するためのオプションです。(フィルム入力、ムービーなど元々フィルムカメラでキャプチャされたものです。ビデオ入力は、テレビ番組やスポーツイベントなどビデオカメラでキャプチャされたものです。) まず最初に使用するモードとしてガンマ補正を使用し、各信号源の設定をさらにカスタマイズできます。カスタマイズした設定は、各ソースのガンマ補正に保存されます。工場出荷時の設定に戻すには、**[設定]>[サービス]**メニューで**[初期化]**を選択します。

さらに、3つのユーザー定義可能なガンマ補正があります。現在の入力源にモードを設定するには、イメージを調整して**[ユーザー1を保存]**(または2、3)を選択します。使用するモードを選択して、これらの設定を呼び出すことが可能になります。



ガンマ補正

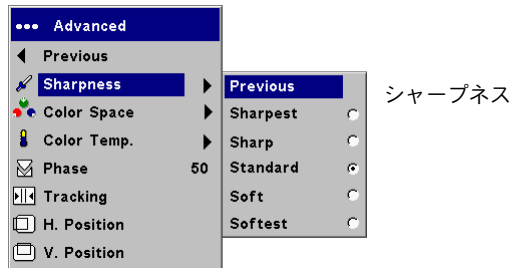
部屋の明るさ: この機能は、部屋の明るさに対してプロジェクタを最適化します。暗い部屋の場合は**[暗い]**、明るい部屋の場合は**[明るい]**を選択します。**[明るい]**を選択すると、プロジェクタからの光の出力が最高になります。



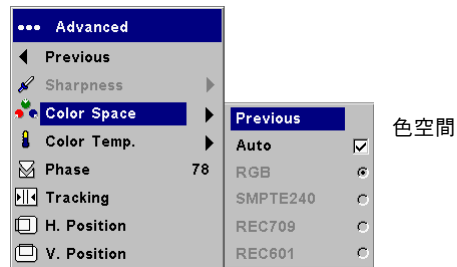
部屋の明るさ

詳細設定

シャープネス : (ビデオソースのみ)ビデオイメージの縁の明瞭さを変更します。シャープネスの設定を選択します。



色空間 : このオプションは、コンピュータソースに適用されます。このオプションにより、ビデオ入力用に特別に調整された色空間を選択できます。[自動判別]が選択されている場合は、プロジェクトが規格を自動的に判断します。異なる設定を選択するには、[自動判別]をオフにしてコンピュータソースには[RGB]、コンポーネントソースには[SMPTE240]、[REC709]、[REC60]のいずれかを選択します。



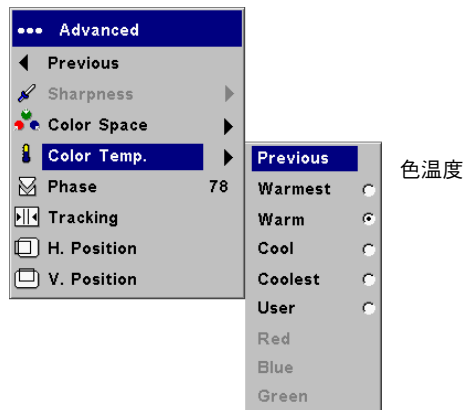
色温度 : 色の強度を変更します。リストされている値を選択するか、[ユーザ]を選択して赤、緑、青の色の強度を個別に調整します。

次の4つのオプションは、コンピュータおよびコンポーネントソースのみで利用できます。

位相 : コンピュータ信号源の水平相を調整します。

水平サイズ : コンピュータ信号源の垂直走査を調整します。

水平 / 垂直位置 : コンピュータ信号源の位置を調整します。



[設定]メニュー

音声：ボリュームとバランスを調整できます。また、プロジェクトの起動チャイムのオンとオフを切り替えます。

入力：このオプションにより、オプションの統合リモートコントロールを使用している場合に、特定の信号源キーに特定の入力を割り当てることができます。また、起動デフォルト信号源を選択したり、自動信号選択のオンとオフを切り替えることもできます。

信号源 > 電源オン時入力：このオプションは、電源投入時にプロジェクトがアクティブなビデオのソースをどの種類からチェックするかを決定します。

入力 > 自動入力選択：[自動信号選択]が選択されていない場合は、プロジェクトは[電源オン時入力]で選択されている信号源をデフォルトとして使用します。信号源が見つからなかった場合は、空白の画面が表示されます。[自動信号選択]が選択されている場合は、[電源オン時入力]が起動時にプロジェクトがデフォルトとして使用する信号源を判断します。信号が存在しない場合は、信号源が見つかるか電源がオフになるまでプロジェクトが信号をチェックし続けます。

システム設定 > 背面設置：透明なスクリーンの後ろから投影できるようにイメージを逆にします。

天吊り設置：天井吊りでプロジェクトを設置した場合に正しくイメージを投影できるようにイメージの上下を逆にします。

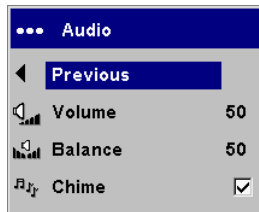
天吊り設置：プロジェクトが上下逆に設置され、画面が反転している場合に、この状態を自動的に検知します。これは、デフォルトでオンになっています。

自動電源オン：[自動電源オン]が選択されている場合は、プロジェクトの電源がオンになった後で自動的に起動状態に入ります。これにより、壁の電源スイッチを使って天井吊りにしたプロジェクトを制御できます。

メッセージ表示：画面の左下隅にインフォメーションメッセージを表示します（「検索中」や「消音」など）。

節電モード：5分間信号が検出されない場合にランプを自動的にオフにします。さらに3分間信号が検出されない状態が続くと、プロジェクトの電源が切れます。プロジェクトの電源が切れる前にアクティブな信号を受信すると、イメージが再度表示されます。

スクリーンセーバー：事前に指定された分数が経った後も信号が検出されなかった場合は、黒を使って空白の画面が自動的に表示されます。アクティブなソースが検出されるか、リモートコントロールかキーボードのボタンを押すとイメージが再度表示されます。[節電モード]が使用可能なときは[スクリーンセーバー]は無効になります。



音声



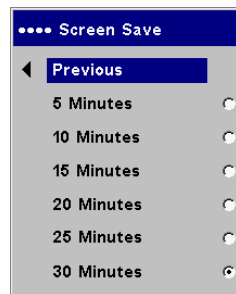
入力



起動
入力



[システム設定]
メニュー



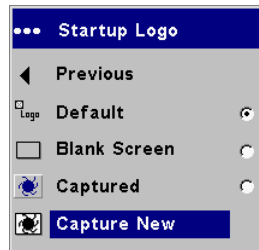
スクリーン
セーバー

起動ロゴ：起動時および信号源が検出されなかった場合にデフォルト画面の代わりに空白の黒、白、または青の画面を表示します。カスタムのスタート画面をキャプチャし、表示することもできます。

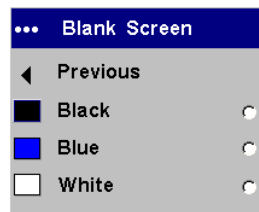
カスタム ロゴをキャプチャするには、コンピュータでキャプチャするイメージを表示して、[新規キャプチャ] オプションを反転表示にし、**Select** を 2 回押します。キャプチャ中は、キーボードの LED がオレンジ色になります。キャプチャが完了すると、プロジェクタがキャプチャを確認します。確認できると、LED が緑色になります。

プロジェクタを次に起動すると、キャプチャしたカスタム ロゴが表示されます。

無信号背景：リモートコントロールの **Blank** ボタンを押したときに表示する色を指定します。



スタート画面



無信号背景

Effectキー：機能を簡単に素早く使用できるように、リモートコントロールで**Effect** ボタンに異なるキーを割り当てることができます。一度に1つのエフェクトのみを使用可能にできます。機能をハイライトしてから、**Select** を押して異なる機能を選択します。デフォルトの機能は、[フリーズ]です。

映像ミュート：空白の画面を表示します。

ミュート：サウンドをオフにします。

画面サイズ：イメージの幅の高さに対する比を設定します。

入力設定：利用できる入力を切り替えます。

オートセット：コンピュータの入力を再捕捉します。

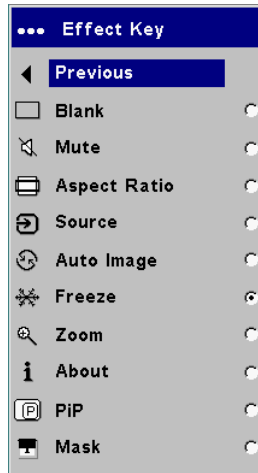
フリーズ：投影されているイメージをフリーズします。

ズーム：スクリーンの一部を拡大できます。この機能は、マウス ボタンおよびカーソル制御付きのオプションのリモート コントロールをご購入いただいた場合にのみ動作します。ズーム エフェクトを使用するには、**Effect** を押してから左マウス ボタンを押してイメージを拡大します。右ボタンを使用すると、イメージが縮小されます。イメージの異なる部分を表示するには、カーソル コントロールを使ってパンすることもできます（イメージが拡大されている場合のみ）。元のサイズに戻ってズームをキャンセルするには、**Effect** ボタンを再度押します。

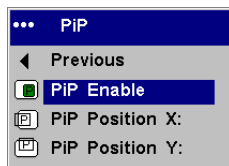
状態表示：[状態表示] メニューを表示します。

PiP：（ピクチャ イン ピクチャ：Picture in Picture）大きなコンピュータ入力ウィンドウの上部に小さなビデオ入力用のウィンドウを重ねて表示できます。PiPを使用するには、コンピュータとビデオ入力両方が接続されていなければなりません。小さなPiPウィンドウには、コンピュータ イメージを表示することはできません（ビデオ イメージのみ）。ウィンドウの大きさは、小、中、大から選択できます。メニューの [PiP 位置 X] および [PiP 位置 Y] を使って、画面での PiP ウィンドウの位置を移動することもできます。上下矢印を押して、位置を変更します。

マスク：マスクエフェクトを使うと、イメージの部分を黒いカーテンで隠すことができます。上下矢印を押して、イメージにかかるカーテンを上下できます。



Effect キー



ピクチャ イン ピクチャ

ネットワーク : 拡張バージョンにはネットワーク接続とTCP/IPプロトコルをサポートするRJ45 Ethernetコネクタが付いています。これにより、プロジェクトを企業のネットワークを介して制御および管理できます。DHCPが選択されていず、データの手動エントリが利用可能な場合は、次のフィールドを利用できます。

IPアドレス : ネットワーク上でプロジェクトを識別します。

サブネットマスク : IPアドレスのネットワークアドレス部を分離します。

デフォルトゲートウェイ : ローカルルーターのIPアドレスです。

DHCP : これを選択すると、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが自動的に取得されます。

ネットワーク情報 : ネットワーク構成の情報を表示します。

[**ネットワーク情報**] メニューは、編集できない表示専用のオプションです。このオプションを使用すると、現在のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、プロジェクトのMACアドレスが表示されます。

言語 : メニューおよびメッセージを画面に表示する言語を選択できます。

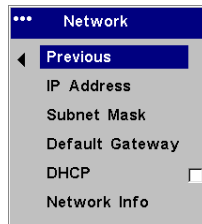
サービス : これらの機能を使用するには、機能を選択して **Select** を押します。

初期化 : 確認のダイアログボックスを表示した後、すべての設定(ランプ時間とネットワーク設定を除く)をデフォルト値に戻します。

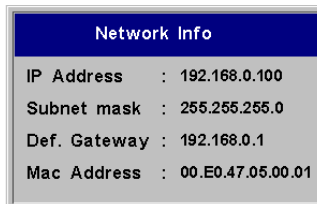
ランプリセット : [状態表示] メニューのランプ時間カウンタをゼロにリセットします。これはランプを交換した場合にだけ行ってください。確認のダイアログボックスが表示されます。

サービス情報 : プロジェクトのソフトウェアバージョンとアクティブな信号源に関する情報を表示します。

サービスコード : 認定されたサービス担当者のみが利用するオプションです。



ネットワーク



ネットワーク
情報



言語



[サービス] メニュー

保守

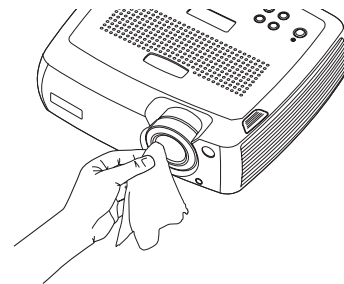
レンズのクリーニング

- 1 研磨性でないカメラ レンズ用のクリーナーと柔らかい乾いた布を使ってクリーニングします。

クリーナーを使いすぎないように注意してください。クリーナーを直接レンズに付けないでください。研磨性のクリーナー、溶剤、強い化学クリーナーはレンズに傷を付けることがあります。

- 2 回転動作を使ってクリーニング用の布で軽く拭き取ります。プロジェクタを使用しない場合は、レンズキャップを装着してください。

柔らかい乾いた布で
レンズをクリーニング
研磨剤やクリーナーは
使用しない



投影ランプの交換

[状態表示]メニューの[ランプ時間]タイマーは、ランプが使用された時間数をカウントします。ランプ寿命時間の指定した終わりの50時間前になると、起動ごとに画面とインタラクティブディスプレイに「ランプの交換」というメッセージが短時間表示されます。50時間経つと、ランプが点灯しなくなります。ランプは代理店からご注文いただけます。詳しくは、41ページの「アクセサリ」を参照してください。

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源ケーブルを外します。
- 2 少なくとも60分プロジェクタを放置して、完全に冷えるまで待ってください。
- 3 プロジェクタを裏向けにして、固定ネジを緩めて取り外します。次に、ランプ収納部ドアを開けます。

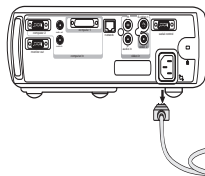
- 4 ランプモジュールの2つの専用ネジを取り外します。

警告:

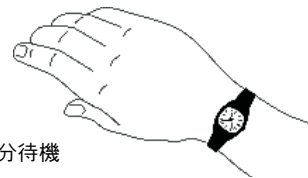
- 火傷を防ぐため、ランプの交換を行う前にプロジェクタの電源を切ってから60分間放置してください。
- ランプを交換する前に、電源コードを取り外してください。
- ランプモジュールを落とさないでください。ガラスが割れて怪我を招くことがあります。
- ガラスのランプスクリーンに触れないでください。指紋が付くと投影の鮮明度が落ちることがあります。

About	
Active Source	:Computer 2
Signal Format	:1280x1024 SXGA 75Hz
LampHours Used	:35 hours
SW Build	:1.10
SW Version	:753-0332-00

[状態表示]メニュー



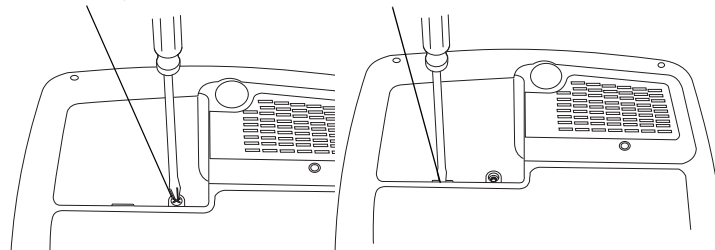
プロジェクタの電源を切る
電源コードを取り外す



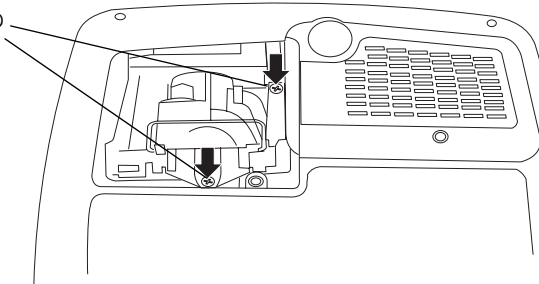
60分待機

ランプ収納部ドアのネジを緩める

ドアを開ける



ランプモジュールの
ネジを取り外す



- ランプを収納部から外す時は十分に注意してください。稀にランプが破裂して、小さな破片が飛び散ることがあります。ランプ モジュールはこのような破片が飛び散らないようにデザインされていますが、ランプの取り外しには十分注意してください。ランプを交換する前に、ランプ収納部をクリーニングして、クリーニングに使ったものを廃棄してください。この製品に付属しているランプには、ごく少量の水銀が含まれているため、ランプを交換した後は必ず手を洗ってください。この製品を廃棄する場合は、地域、州や都道府県、国の規則および法律に従ってください。詳しくは、www.eiae.org を参照してください。

5 金属の棒ワイヤーを持ち上げてランプ モジュールを注意深く取り外します。ランプは環境的に正しい方法で破棄してください。

6 新しいランプ モジュールを取り付け、しっかりと収まったことを確認します。

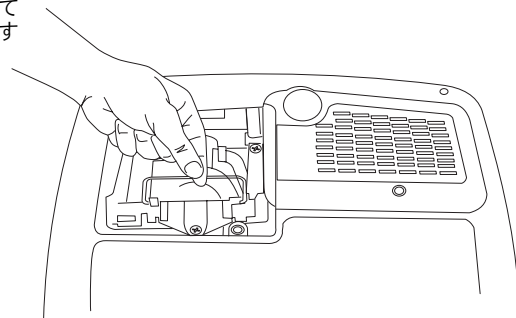
7 2つのネジを取り付けます。

8 ランプ収納部ドアを取り付けて、ネジで固定します。

9 電源コードを差し込んで、**Power** ボタンを押してプロジェクタの電源をオンにします。

10 ランプ時間タイマーをリセットします。

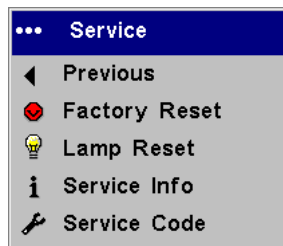
固定ワイヤーを使って
モジュールを取り外す



ランプ時間タイマーのリセット

ランプ タイマーがプロジェクタのランプの最大使用時間（1500 時間）に達すると、プロジェクタ キーパッドにある LED がランプ エラーを示します（16 ページの「LED の動作と意味」を参照）。ランプ時間タイマーをリセットするには、リモートにある音量を下げるボタンを押してから、音量を上げるボタンを3秒間押し続けます。この時点で LED が緑に点灯し、プロジェクタの電源をオンにできるようになります。

または、[設定]>[サービス]メニューから[ランプのリセット]を選択して、ランプタイマーをリセットすることもできます。



[サービス]メニューでランプ時間をリセット

ほこりフィルタのクリーニング

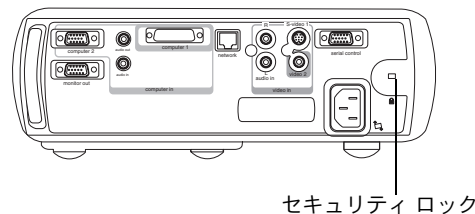
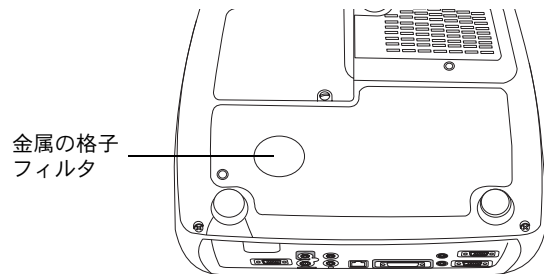
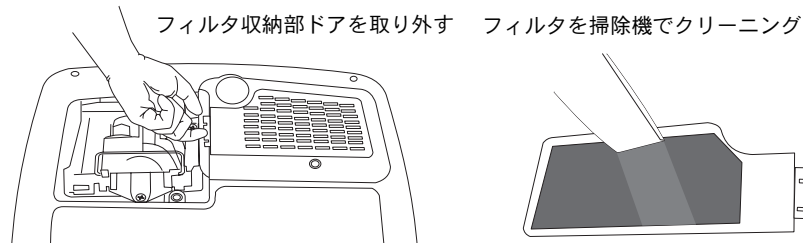
ほこりフィルタは、空気中にあるほこりやその他の粒子がプロジェクタ内に入らないように保護するフィルタです。フィルタがつまると、プロジェクタが適切に冷却されなくなり、故障につながる場合があります。ほこりの多い環境では、フィルタを 100 時間の使用ごとにクリーニングしてください。フィルタをクリーニングしないと、ランプの寿命時間が短くなることがあります。

フィルタには、ほこりフィルタのドアに取り付けられているメッシュのフィルタと、ランプ収納部ドアの近くにある金属の格子フィルタの 2 つがあります。

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源ケーブルを外します。
- 2 少なくとも 60 分プロジェクタを放置して、完全に冷えるまで待ってください。

警告: 火傷を防ぐため、ほこりフィルタのクリーニングまたは交換を行う前にプロジェクタの電源を切ってから 60 分間放置してください。

- 3 プロジェクタを裏返して、ランプ収納部ドアを取り外します。38 ページを参照してください。
- 4 ほこりフィルタ収納部ドアを取り外します。
- 5 掃除機を低速に設定してフィルタをクリーニングします。
- 6 ほこりフィルタ収納部ドアとランプ収納部ドアを取り付けます。
- 7 ランプ収納部ドアの近くにある、取り外しができない金属の格子フィルタを掃除機でクリーニングします。



セキュリティロックの使い方

プロジェクタにはケーブル ロック システムを使ったセキュリティ ロックがあります。ご注文については、41 ページの「アクセサリ」を参照してください。ロックの使い方はロックに付属のマニュアルに記載されている情報を参照してください。

付録

アクセサリ

標準アクセサリ (プロジェクトに付属)

配送ボックス (梱包材を含む)

携帯ケース

コンピュータケーブル、1.8 m (6 フィート)

オーディオ/ビデオ ケーブル、
1.8 m (6 フィート)

オーディオケーブル、1.8 m (6 フィート)

電源ケーブル*

ナビゲータ リモート

投影ランプ モジュール
(プロジェクトに収納済み)

レンズ キャップ

レンズ キャップのひも

クイックセットアップカード

CD に収録されたユーザーズガイド

安全カード

カラーコードされたケーブルタイ (3 セット)

SCART アダプタ*

* 国によって異なります。

注意: 認定されているアクセサリのみを使用してください。

オプションのアクセサリ

輸送ケース (ATA 認定)

プロジェクト設置キット

プロジェクト取り付け用の擬似天井
プレート

プロジェクト取り付け用の延長アーム
26 ~ 47 インチ

オーガナイザ携帯ケース

DVI-D ケーブル、1.8 m (6 フィート)

MI- コンポーネント アダプタ

LiteShow ワイヤレス接続

ProjectorNet ソフトウェア
(拡張バージョンのみ)

オーディオ/ビデオ ケーブル、
9 m (30 フィート)

プロジェクトのケーブル ロック システム

50 インチスクリーン (ポータブル)

60 インチスクリーン (ポータブル)

84 インチ壁設置 / 天井吊りスクリーン

交換用ランプ モジュール

RF プレゼンタ リモート コントロール

IR プレゼンタ リモート コントロール

IR コンダクタ + リモート コントロール

赤い LED とプロジェクタのエラー

プロジェクタが正しく動作せず、LED が赤色に点滅する場合は、表 2 を参照して可能性のある原因を調べてください。点滅サイクルの間隔は 2 秒です。赤い LED のエラーコードについて詳しくは、InFocus のウェブサイト参照してください。アドレスは、裏面の内側に記載されています。

表 2:

赤い LED	説明
1 回の点滅	ランプが 5 回の試行後も点灯しませんでした。ランプおよびランプ収納部ドアがしっかりと固定されているかどうかを確認してください。
2 回の点滅	ランプの使用時間がランプの寿命時間を超えました。ランプを交換してランプ時間カウンターをリセットしてください。
3 回の点滅	プロジェクタがランプをシャットダウンしました。ランプを交換してください。ランプを交換しても問題が解決されない場合は、修理についてテクニカルサポートにお問い合わせください。
4 回の点滅	ファンが動作していません。テクニカルサポートに連絡して、修理を依頼してください。
5 回の点滅	プロジェクタが過熱しています。通気口が塞がれていないことを確認してください。通気口から物体を取り除いても問題が解決されない場合は、修理についてテクニカルサポートにお問い合わせください。

投影イメージサイズ

表 3:
イメージのサイズ

スクリーンからの距離 (m/フィート)	最小の対角線 (m/フィート) 投影率 1.53	最大の対角線 (m/フィート) 投影率 1.28	最小の水平距離 (m/フィート) 投影率 1.91	最大の水平距離 (m/フィート) 投影率 1.60
1.5/5	1/3.3	1.2/4	0.8/2.6	1/3.2
3/10	2/6.5	2.4/7.8	1.6/5.2	1.9/6.3
4.6/15	3/9.8	3.6/11.7	2.4/7.8	2.8/9.3
6.1/20	4/13	4.7/15.5	3.2/10.4	3.8/12.4
9.1/30	5.9/19.5	7.1/23.2	4.8/15.6	5.7/18.6
10/32.8	6.5/21.3	7.7/25.4	5.2/17	6.2/20.3

注意: InFocus のウェブサイトには、インタラクティブのイメージサイズ計算ツールがあります。